

# 令和4（2022）年度 外部評価委員による評価結果 （事業計画）

## I. 評価者

所属・役職 一般社団法人京都経済同友会 理事事務局長  
氏名 下間 健之

## II. 令和4（2022）年度重点目標・重点事業計画の総評

教育理念・教育目標達成のための学長方針を明確に掲げられ、その実現に向けた重点目標・重点事業計画の達成状況の評価方法を構築・運用されるとともに、精度の向上を図られるなど、学長のガバナンスのもとでの大学の更なる発展に向けた仕組が整えられている。

学長方針に対応したミッションや、第二期5カ年計画の重要政策は、コロナ禍においても着実に実行に移されており、社会情勢の変化や産業界からのニーズを踏まえて新カリキュラムを策定された点についても評価したい。今後、新カリキュラムを実施した成果や課題についての検証や改善を重ねられ、実社会に根差した大学教育の進化に努められることを期待する。あわせて、コロナ禍という外国語大学にとって極めて厳しい状況への対応を通じて得られた成果や教訓について、今後の教育研究活動や組織運営に活かされることを望みたい。

また、大学の永続的な運営を可能とする戦略的優位性を確立するに当たり、「京都」という場のもつ意味にあらためて焦点を当てられたご慧眼に敬意を表す。学長特命の「もっと京都プロジェクト」により、国際都市、歴史都市、文化都市、ビジネス都市など様々な顔を持つ京都の都市特性を活かしながら、市民や行政、関係団体等との連携を深められ、国内外から学生・研究者が集い、世界の平和と繁栄にそれぞれの持ち場で貢献できる担い手が育っていく本学の今後に期待を寄せたい。